東京23区､ひとり親支援に力　シェアハウス･独自給付

#東京 #関東 #子育て

2023/3/14 19:58

東京23区がひとり親家庭の支援に力を入れている。豊島区はひとり親向けのシェアハウスの改修費を補助し、中野区は離婚調停中の生活費として子ども1人につき10万円を独自に給付する。ひとり親家庭は経済的に困窮しているケースが多い。物価高の影響も受けやすいとみて、各区は支援策を拡充する。

豊島区のひとり親向けシェアハウスは第1号物件が3月に完成した。空き家だった区内の戸建て住宅を改修し、リビングやキッチン、浴室がある1階部分を共有スペース、2階を各家庭の個室とした。2部屋をひとり親家庭の住まいとして提供しており、すでに一世帯が入居した。

区は150万円を上限に改修費を補助し、入居者の募集やシェアハウスの運営は支援団体が担う。2023年度もシェアハウス1棟を確保したい考えだ。

中野区は離婚が成立せず児童扶養手当を申請できない子ども連れの人に対し、生活費の補塡として子ども1人あたり10万円を給付する。30世帯で子ども60人への給付を見込む。

練馬区は就労に向け看護師や保育士などの資格取得に取り組むひとり親向けの給付金を増額する。現在は月14万円を給付しているが、23年度から同16万円とし、第2子以降は月2万円を加算する。足元の物価高を考慮して増額を決めたという。